

まちの話題

市内の話題を紹介

展勝地の素晴らしい桜を次の100年へ 市内小中学生が桜守講習会参加

5/25

桜の世話をする「桜守」事業への理解を深めるため、立花小学校と東陵中学校の児童生徒らを対象に、桜守講習会が開催されました。弘前市都市整備部の小林勝^{まさる}氏を講師に、立花小の児童約90人は展勝地公園お花見広場で、東陵中の生徒約90人は同校グラウンド周辺で、桜へ肥料を与える作業を行いました。

展勝地開園の祖・沢藤幸治氏のひ孫にあたる遠藤理恩^{りおん}さん（東陵中3年）は「花の時期以外も桜を大事に考える機会になった」と思いを巡らせていました。



自然科学の魅力を子どもたちが体感 おもしろ実験教室で不思議発見!

6/5

「科学」がきたカミングおもしろ実験教室は、hoKko 1階もぐもぐキッチンで行われ、市内の小学4～6年生約40人が参加しました。お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンターの露久保美夏^{つゆくぼみか}氏がリモートで講師を務め、「オレンジゼリーが自然と2段に分かれる」「クリームが入ったボトルを振り続けるとバターに変身する」という2つの実験を行いました。

高橋璃乃^{りなの}さん（和賀東小5年）は「ゼリーがきれいに2層になってびっくり」と楽しんでいました。

民俗村で手づくり作品展示 岩手のクラフト村

6/12

みちのく民俗村で、県内の作家による工芸品や民芸品の展示・販売が始まりました。民俗村らしい古風な市場の雰囲気と、土日祝日限定ワークショップが楽しめます。

家族で訪れた小川智子^{ちこ}さん（川岸）は「知らない作品に出合える、凝ったイベントだ」と、展示品に興味を示していました。

同イベントは7月25日(日)まで毎日開催されます。



夏油の安全と振興を祈願 夏油三山山開き

6/13

夏油三山山開きが行われ、関係者ら約60人が神事に参列し、山での無事故と夏油温泉の振興を祈願しました。

夏油温泉開発連絡協議会長の高橋市長は「登山に参加する皆さんは、安全な行動を守りながら山のすばらしさを伝えてほしい」とあいさつ。神事後に有志らが駒ヶ岳に登り、緑深まる山の自然を楽しんでいました。



当市出身漫画家の特別イベント 麻宮騎亜^{あさみやま}トーク&サイン会

6/13

4月から博物館で開催してきた麻宮騎亜^{あさみやま}（本名・菊池通隆^{みちたか}）氏の原画展最終日に、本人によるトーク&サイン会がみちのく民俗村で行われ、県内外から根強いファン約80人が駆けつけました。

麻宮氏は大ヒット作「サイレントメビウス」などを手掛け、今年でデビュー35周年。「地元で原画展ができて、大変ありがたい」と喜んでいました。

